

ごあいさつ

私が子供の頃、家の近くに国鉄の鳥取機関区があり、S Lをよく見に行っていました。S Lの大きさと力強さに圧倒され、いずれは自分で作ってみたいと思うようになりました。

ミニS Lを本格的に製作したのは、仕事が落ち着いた60代からですが、国内外のさまざまなメーカーの物があり、全ての部品が最初からそろっている物や、部品が全部そろうまでに10年以上かかった機関車もあります。

部品が全部届くまでに、新しい部品が販売されると、欲しくなって注文しているうちに台数が増えてしまい、石炭で実際に動く機関車だけで20台製作することとなりました。

私が製作したミニS L機関車等は、すべて実物の構造と同じに作ってあります。小さな部品の組み立ては細かい作業が必要なので、とても苦勞しましたが、完成して煙を吐いて動く姿をみると大変感動しました。

このたび、私が八頭町にある若桜線S L遺産保存会の顧問をしているというご縁もあり、八頭町の地域活性化に貢献できるのであればと、これまで製作してきた我が子のようなミニS L機関車等15両を八頭町に寄贈させていただきました。

このような立派な「やずミニS L博物館」を整備していただき、名誉館長として就任させていただきましたことに感謝申し上げます。

これからもずっと、私の製作した機関車が元気に煙を吐きながら子供たちの笑顔を乗せて走り続けることを願っています。

平成29年4月1日

やずミニS L博物館

名誉館長 中村 仙一郎